

(要領様式第5号)

研修カリキュラム

年度	令和4年度 神奈川県保育エキスパート等研修
分野	障害児保育
実施機関	一般社団法人保育のデザインアドバンス

	研修名	講師名	内容	研修形態	時間	総時間数	開催日程	会場	定員
1	障害の理解 (障害とその支援に関する理解)	国立特別支援教育総合研究所 総括研究員 久保山 茂樹	・障害とはなにか ・障害の考え方の変遷 ・共生社会と特別支援教育 ・合理的配慮と基礎的環境整備、そして保育	講義(eラーニング)+報告書	2時間09分29秒	15時間15分32秒	令和4年 7月19日(火) ～ 11月7(月)	パソコン スマートフォン タブレット	200人
2	障害児保育の環境 (気になる子どもの視点から保育を見直す)	国立特別支援教育総合研究所 総括研究員 久保山 茂樹	・保育における特別な支援 ・個に応じることと集団が変わること ・保育がうまくいかないのは子どもだけに原因があるのだろうか ・子どもは「いま」「ここ」を懸命に生きている ・気になる子どもの視点から保育を見直す	講義+演習(eラーニング)+報告書	3時間14分14秒		令和4年 7月19日(火) ～ 11月7(月)	パソコン スマートフォン タブレット	200人
3	障害児保育の指導計画、記録及び評価	仙台白百合女子大学 教授 三浦 主博	・全体的な計画に基づく指導計画 ・障害児保育の計画 ・個別の指導計画作成1-観察と記録 ・個別の指導計画作成2-目標の設定 ・計画に基づく障害児保育の実践 ・障害児保育の評価	講義+演習(eラーニング)+報告書	2時間33分14秒		令和4年 7月19日(火) ～ 11月7(月)	パソコン スマートフォン タブレット	200人
4	家庭及び関係機関との連携1 (気になる子どもの保護者への支援・保護者との協働)	国立特別支援教育総合研究所 総括研究員 久保山 茂樹	・気になる子どもを取り巻くつながり ・親子の歴史を見守る母子保健の役割 ・気になる子どもの保護者のおもいを想像する ・保護者の歴史から学ぶ、そして、協働する	講義+演習(eラーニング)+報告書	3時間14分08秒		令和4年 7月19日(火) ～ 11月7(月)	パソコン スマートフォン タブレット	200人
5	家庭及び関係機関との連携2 (関係機関との連携)	玉川大学 教授 若月 芳浩	障害児保育に関する理解を深め、保護者や関係諸機関との連携を密にする ・障害児保育と日々の保育の関係 ・保護者や関係諸機関との連携	講義+演習(eラーニング)+報告書	1時間04分27秒		令和4年 7月19日(火) ～ 11月7(月)	パソコン スマートフォン タブレット	200人
6	障害児の発達の援助	八戸学院大学短期大学部 准教授 差波 直樹	グループ演習を通して、障害児の発達の援助及び障害児保育全般を振り返り、各自の保育にとりいれる	講義及びグループ討議	3時間00分00秒		令和4年 11月8(火)	パソコン スマートフォン タブレット Zoomによるライブ形式	200人

※ 保育士等キャリアアップ研修の修了証の交付を受けるためには、1～6すべての研修を受講する必要があります。